

### 新たなごみ焼却施設 工事請負契約を締結へ

この契約の締結により新たなごみ焼却施設の整備・運営事業に関する基本契約、運營業務、焼却残渣資源化処理業務、輸送業務の各委託契約の効力が発生するため、5月臨時会では事業全体にわたる活発な議論が展開されました。ここではその一部を要約して紹介します。

**問** この工事請負契約の契約金額は約1億2億3000万円となっているが、その財源を聞きたい。  
**環境部長** 国庫支出金が約45億円、起債が約52億円、一般財源が約8億円で、特定財源として大磯町からの分担金が約6億7000万円である。

**問** この事業は、本来であれば市民がどのようなごみ処理を求め、焼却処理が望ましいのかを調査してから着手すべきと考える。施設の建設、運営は公設民営方式であるDBO方式で行われるが、今回工事請負契約を行う相手先の財務面、技

術面の精査は行ったのか。  
**環境部長** 最終的には三つの企業グループから提案があった。それらすべての財務体質、技術面の精査を行った結果、いずれも問題は無いものとして選んでいる。  
**問** ごみの焼却により発電される電力を売電することで得られる収入はDBO方式で運営を行う事業者の収入としているが、年間の売電量や売電による収入をどの程度見込んでいるのか。  
**環境部長** 年間の総発電量約3500万キロワットのうち、施設の使用分が1200万キロワットとしていため、売電量は2300

**無所属**  
**江口 友子 議員**  
**認可保育園の入所選考基準の見直しを**  
**問** 認可保育園には、「児童が保育に欠ける」として認定して初めて入所できる。また必要性が高い児童を保育所入所選考基準に照らし

ついて、入所の優先順位を示してほしい。  
**健康・こども部長** 保護者が「保育に欠ける状態」と「個々の世帯の状況」を指数化し合算する。その点数の高い順に入所の判定を行っている。議員が示した事例では、1番がA世帯で「正社員の8点」、2番目はB世帯で「パートで8時間以上の勤務で7点」、3番目はC世帯の「求職中の3点」と母子家庭の2点を合わせた5点」とD世帯の「学業中の5点」で同点となる。現在、経済的な困窮度は入所選考の際に考慮していないが、入所選考基準の改定作業を行っており、今後は、保護者が正社員であるかないかで判断するのではなく、児童を保育することができない実態で判断すべきと考え、改定の内容に反映していく。

**無所属**  
**厚見 利子 議員**  
**平塚市総合交通計画**  
**問** 移動が難しくなる高齢者に対する具体策を問う。  
**まちづくり政策部長** 乗り合い型のコミュニティバス、乗り合いタクシー等、地域のニーズに応じた地域公共交通の整備を目指す。持続可能な交通となるように、交通事業者や地域の方々と具体的な在り方を検討していく。

**問** 歩行者と自転車の安全な通行空間の確保を問う。  
**まちづくり政策部長** 車道への自転車通行帯の明示、道路空間の再配分、自転車走行位置の明示等を、交通管理者など関係機関と協議し検討していく。  
**電磁波問題**  
**問** 電磁波と健康被害の因果関係は立証されていないが、原因と思われる症例が多く報告されている。携帯電話の中継基地局が、市内の学校や幼稚園、保育園の近くにも多く建ち、子供への影響が心配される。予防原則に立ち市民、特に子供たちを守るためのまちづくりをすべきと思いが見解は。  
**企画部長** 懸念する声があることは認識している。因果関係を立証するのが難しい中、国の動向を注視し、対策が必要な場合は対処する。また、予防原則に基づき自治体が規制を行うには慎重さが求められるため、電磁波対策にはその影響が信頼できるデータに基づく社会的合意が醸成される必要があると考える。

## 6月定例会の質問者と主な項目

議員名：所属会派名等(質問時間)	※発言通告から主な項目を抜粋		
<b>岩田 耕平：平塚クラブ(30分)</b>	び周辺施設の現状と課題について (1) 工事の進捗状況 (2) 管理・運営方法 2 本市のごみ行政について (1) 現状と課題 (2) ごみ減量と資源化 3 子育て支援の充実について (1) 就学前の子育て支援 (2) 子育て施設の臨時・パート職員の処遇改善 4 米飯給食の回数増	2 不用品回収の規制強化 (1) 消費者保護 (2) 資源ごみの持去り 3 脳脊髄液減少症について <b>坂間 正昭：清風クラブ(30分)</b> 1 地域整備について (1) 生活環境 ア 耕作放棄地対策 イ 農業集落排水事業 (2) 道路整備 (3) 施設等の受け入れ条件整備の進め方 2 消防行政について (1) 消防の広域化 (2) 火災予防と消防力の強化 3 学校教育 (1) 魅力ある学校づくりと施設について 4 青少年育成について <b>野崎 審也：平塚クラブ(23分)</b> 1 子育てするならひらつか 2 長寿を楽しむまちひらつか (1) 高齢者支援について 3 ユニバーサルデザインのまちひらつか (1) 北口駅前広場のバリアフリー化後の諸課題について 4 未来を結ぶひらつかなぎさステージ (1) 国道134号暫定4車線化に伴う拠点整備について <b>小泉 春雄：湘南民主クラブ(23分)</b> 1 平塚市競輪事業について (1) 鎌倉市撤退問題訴訟 (2) 経済産業省所管財団法人JKA 2 地区公民館活動について 3 新たな姉妹都市の締結について <b>伊東 尚美：公明ひらつか(15分)</b> 1 平塚市環境基本計画第2期事業計画から	(1) 環境教育の充実 (2) 生物多様性の保全対策 2 いじめ・不登校対策への取り組み (1) 教育相談の充実 (2) 適応指導教室について <b>松本 敏子：日本共産党平塚市議会議員団(26分)</b> 1 介護保険について 2 平塚市企業立地等促進事業について 3 選挙投票率アップのための体制づくり 4 育児休業における兄弟姉妹の保育園入所基準の改善を <b>端 文昭：市民派の会(26分)</b> 1 廃棄物行政について (1) ごみ処理広域化 (2) 次期環境事業センター (3) 特定ごみ(事業系ごみ)制度 2 事業仕分けと補助金仕分けについて (1) 国の事業仕分け、平塚市の仕事の点検作業 (2) 補助金、負担金、交付金 3 競輪事業とJKAについて 4 (仮称)湘南ひらつかパークゴルフ場について <b>江口 友子：無所属(13分)</b> 1 今、求められる女性と子育て支援 (1) 待機児童の現状と具体的対策 (2) 保育所入所選考基準 (3) 最後のセーフティネット・生活保護制度の運用 <b>厚見 利子：無所属(13分)</b> 1 平塚市総合交通計画について (1) 高齢者への対応 (2) 交通環境の整備 ア 歩行者・自転車の通行空間の確保 2 暮らしの中の電磁波問題について
<b>水野 泰助：湘南民主クラブ(30分)</b>	1 市長に問う (1) 新幹線新駅の設置について (2) 平塚市まちづくり条例の見直し案について (3) 地震防災対策について ア 津波避難計画 イ 住宅耐震化率 ウ 「地震防災の日」の活動 2 教育長に問う (1) 道徳教育について	1 平塚市高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第4期]) 2 ごみ減量化作戦 (1) 一般可燃ごみ減量化実行計画 (2) 事業系ごみの有料化について 3 平塚市の観光資源とブランド化 (1) 地場産品の活用 4 諸課題 (1) 広報ひらつかについて <b>出村 光：湘南民主クラブ(25分)</b> 1 駅西口東地自転車等駐車場について 2 ひらつか花アグリ開園後の課題について (1) 周辺の交通対策 (2) 観光資源としての活用 (3) 市民農園 3 病院事業管理者に問う (1) 役割と責任 (2) 平塚市民病院整備事業の進捗 <b>永田 美典：公明ひらつか(20分)</b> 1 平塚市における危機管理体制について (1) 国民保護法に基づく「避難実施要領のパターン」の策定を (2) 津波避難対策の拡充	
<b>秋澤 雅久：公明ひらつか(30分)</b>	1 報告第11号 財団法人平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の経営状況について 2 市民病院について 3 高齢者政策について (1) 介護政策 (2) 高齢者の居住の安定確保 4 市税等滞納対策について		
<b>黒部 栄三：清風クラブ(30分)</b>	1 (仮称)湘南ひらつかパークゴルフ場及		